

2003年11月27 11月30日

サンクスギビング特別集会のメッセージアウトライン

主題：命についての主の回復と命による主の回復

メッセージ 1

生ける水の源泉

聖書：エレミヤ2:13．詩36:8-9．ヨハネ4:14．7:37．啓22:17

- 。「わたしの民は二つの悪を行なったからだ．彼らはわたしを、生ける水の源泉を捨てて、水ためを、水をためることのない、壊れた水ためを、自分たちのために掘ったのだ」 エレミヤ2:13：
- A．神のエコノミーにおける神の意図は、生ける水の源泉、源となって、彼の選びの民を満足させ、彼らの享受となることです：
- 1．この享受の目標は、神の増し加わり、神の拡大である召会を生み出して、神の豊満とならせ、神を表現することです エペソ1:22-23。
 - 2．神は、彼の選びの民にとって生ける水の源泉となる必要があります。なぜなら、彼はエコノミーを持っており、それはご自身のために配偶者、花嫁を生み出すことであるからです ヨハネ3:29前半．啓19:7-8。
 - 3．神のエコノミーは、生ける水としてご自身を分与して、彼の増し加わり、彼の拡大を生み出し、彼の表現とならせることです コロサイ2:19。
 - 4．生ける水の源泉である神を除いて、何もわたしたちの渴きをいやすことはできませんし、何もわたしたちを満足させることはできません。神がわたしたちの存在の中に分与される以外に、何もわたしたちを彼の増し加わりとならせ、彼の表現とすることはできません ヨハネ4:13-14．7:37．啓22:17。
 - 5．神の意図は、彼の選ばれた民のすべてとなることです。それは、彼らがあらゆる事で彼に信頼し、彼に頼るためです。もし彼らがこうするなら、彼らは神の分与を受けます エレミヤ17:7-8。
- B．神の意図は、ご自身を人の中に分与して、人の満足となり、神を拡大することです。しかし、人は不忠実になり、不貞になり、偶像のゆえに神を捨てました 2:13：
- 1．アダムが墮落したのは、命の木を捨てて、別の木、すなわち善悪知識の木へと向かうことによってでした 創2:9, 16-17．3:1-13。
 - 2．イスラエルが墮落したのは、生ける水の源泉である神を捨てて、神以外の源へと向かうことによってでした。この源は、水ためによって表徴されています エレミヤ2:13。
 - 3．クリスチャンの間の聖書にしたがっていないどのような教えや実行も、偶像です ヨハネ5:21。

- 4 . 多くの人は自分たちの娯楽と楽しみのために、ある種の金の子牛の偶像を礼拝しています 出32:7-29。
- C . 罪とは、神を捨てて、自分自身によって、自分自身のために何かを行なうことです。これが、まさにイスラエルの子らの行なった事でした エレミヤ2:13 :
- 1 . 彼らは、自分たちの供給となる生ける水の源泉である神を捨てました。
 - 2 . 彼らは自分たちの意見にしたがって、自分たちにできるあらゆる事を行ない、自分自身のために事を成し、自分たちの享受としました。
- D . イスラエルは背教を行ない、忠信さを守りませんでした 19節 :
- 1 . 背教とは、神の道を捨てて、別の道を歩み、神以外のものについて行くことです 使徒9:2 . 18:26 . ペテロ2:2, 15, 21 . ユダ11節 :
 - a . 背教とは、神について行く正しい道からそらされることを意味します。
 - b . 背教とは、神を礼拝するという口実の下で、自己のために事を行なうことです。
 - 2 . ダンの背教は、分裂の礼拝センターを設立したことでした 士18:30-31 . 17:9 -10 . 列王上12:26-31 . 列王下10:29 :
 - a . 旧約の歴史によれば、ダンが分裂の礼拝センターを設立したこの行為以上に罪深いもの、また神の民に損害を与えるものは、ありませんでした。
 - b . ダンの背教の源は、他の部族に関心を持たないことにありました。からだの他の部分に関心を持たないことが、背教の源です。
- . 「いのちの源泉はあなたにあり」 詩36:9前半 :
- A . 主の回復は、まず命の事柄を回復することです ヨハネ1:1-2。
- B . 神聖な命が、神の第一で基本的な特質であると見ることができます エペソ4:18 . ヨハネ5:26 . ヨハネ5:11-12 . ローマ8:2 :
- 1 . 神の命の神聖な、永遠の性質によれば、神の命は唯一の命です。神の命だけが、命であると勘定されます ヨハネ1:4 . 10:10後半 . 11:25 . 14:6。
 - 2 . 命とは、神の内容であり、神の流れ出です。神の内容とは、神が何であるかです。神の流れ出とは、ご自身を命としてわたしたちに分け与えることです エペソ4:18 . 啓22:1。
 - 3 . 命とはキリストです。命とは、キリストがわたしたちの中で生き、わたしたちから生かし出されることです ヨハネ14:6 . コロサイ3:4 . ガラテヤ2:20 . ピリピ1:21前半。
 - 4 . 命とは聖霊です ヨハネ14:16-17 . コリント15:45後半 . ローマ8:2 . コリント3:6。
 - 5 . 命とは、三一の神がわたしたちの中に分与されて、わたしたちの中で生きることです ローマ8:10, 6, 11。
- C . 神が欲しているのは、わたしたちが彼をわたしたちの命と存在の、源泉、源として受け入れることです エレミヤ2:13 . 詩36:9前半 :
- 1 . 神のエコノミーにおける神の意図は、彼の選びの民にとって生ける水の源泉、源となって、彼らに享受させることです。

2. 聖書がわたしたちに見せていることは、神があらゆる点において源であるということです。聖書の中にある原則とは、神が彼の選びの民に、源としてのご自身以外のものを受け入れて欲しくないということです。ローマ11:36. コリント8:6. マタイ15:13。
- D. 三一の神は手順を経て、究極的に完成されました。それはご自身をわたしたちの存在の中に分与するためです。ヨハネ7:37-39. ローマ8:11:
1. 神のエコノミーとは、ご自身をわたしたちの存在の中に分与し、わたしたちの存在を、彼であるものをもって構成することです。これは、神がご自身をわたしたちの中に神聖な命として分与することによって、はじめて達成され得ます。
 2. ご自身をわたしたちの中に命として分与することによって、神は彼のエコノミーを達成しつつあります。それによって彼はご自身の団体的な表現を得て、永遠へと至ります。啓21:9-10. 22:1。
- E. わたしたちは、生ける水の源泉である神から飲む必要があります。それによって彼は増し加わり、彼のエコノミーを完成し、彼の配偶者を通してご自身の表現を得ます。エレミヤ2:13. コリント12:13:
1. わたしたちが生ける水の源泉である神から飲む時、彼はわたしたちと一になり、わたしたちも彼と一になります。詩36:8-9。
 2. わたしたちが神から飲めば飲むほど、彼はさらにわたしたちと一になり、わたしたちもさらに彼と一になって、彼の命と性質において彼で構成されるようになります。

2003年サンクスギビング特別集会 標語

神のエコノミーにおける神の意図は、生ける水の源泉とな
って、彼の選びの民を満足させ、神の増し加わりとしての
召会を生み出し神を表現することです。

命の木を食べること、すなわち、キリストをわたしたちの
命の供給として享受することは、召会生活における主要な
事柄であるべきです。

主の回復とは、命の種であるキリストご自身が、わたした
ちの存在の中にまかれて、発展し、キリストの拡大である
神の王国になることです。

勝利者は、その霊が諸召会に言われることを聞く耳を持つ
ことによって、また霊の中で生活することによって、神の
建造である召会のために、命としてのキリストを享受しま
す。